

【始動】

新年あけましておめでとうございます。年末年始は地元の津田天満神社でお祓いし厄年の同級生と共に新年を迎えることができました。今年は監督就任4年目で最大の目標でもありますデフリンピック開催を迎えます。デフサッカーにとって、より一層素晴らしい1年となるよう祈念いたします。

2016年は9月に秋田県で秋田県サッカー協会ご支援の下、第49回全国ろうあ者体育大会が開催されました。この大会の結果は神奈川が念願の初優勝を果たし、東京が準優勝、埼玉が3位、昨年優勝の茨城が4位というドラマチックな大会でした。この大会において最優秀選手に「岡田侑」、優秀選手に「吉野」「岡田拓」「杉本大」「千葉（2年連続）」の4名が選ばれました。11月には大阪府堺市にて大阪府サッカー協会と西日本ろう者サッカー協会の皆様のご支援の下、第14回全日本ろう者サッカー選手権大会が開催されました。試合結果（西日本選抜5-0北海道選抜、東日本選抜7-2九州選抜、3位決定戦 北海道選抜3-2九州選抜、決勝戦 東日本選抜5-2西日本選抜）は千田監督率いる東日本選抜（12得点/4失点）が最多得点、最小失点で3年連続優勝、準優勝に西日本選抜（7得点/5失点）、3位北海道選抜（3得点/7失点）、4位九州選抜（4得点/10失点）という結果でした。大会最優秀選手に「岡田拓」、優秀選手に「折橋」「渡部」「西浦」「奥元」の4名が選ばれました。それぞれの大会で活躍した選手たちから選考合宿に代表候補として召集し代表選手を選出します。

監督に就任してからいままで全国ろうあ大会4回（富山、沖縄、京都、秋田）と日本ろう者サッカー選手権大会3回（北海道、鹿児島、大阪）の合計7回全国大会を視察させて頂き66名の選手を代表候補合宿に召集しました。選手はいろいろな個性があり十人十色で、周囲のことを思いやれる選手もいれば、自己中心的な選手もいます。それがグループとしてどこでも当たり前だと思いますが私が絶対に受け入れられない選手は「チーム（選手やスタッフ）を批判する人間」と「チームの輪を乱す人間」です。別に性格やそれぞれの生活リズム、プレーに向けた気持ちの持って行き方はチームに合わせる必要はなく自分のペースでもいいですがグループの輪が崩れるような言動は絶対にダメです。チーム内で決められたルールの中でやる。これは当たり前のことだと思いますし輪の中で同じ方向に向かっ

て歩いていければいいと思っています。合宿、大会や視察のたびにノートをとっているのですがアジア大会や世界大会を経験することによって選手を見る基準がかなり上がっていることや選手を観る視点が変わっていることと、なにより代表選手のレベルが上がっていることに気づきます。いまから来年のデフリンピックにむけて重要になってくるのはいままで集めました山ほどある情報からチームに必要な情報を「選ぶ」ことです。練習や戦術面から考えましてもそれまでたくさん時間を費やしたことに對してはどうしても愛着が湧いてしまいますが目的（メダル獲得）にむかって覚悟を決めて選別し決断することが監督としての役割です。

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（JIFF）は2016年12月24日（土）第一回目となる「JIFF インクルーシブフットボールフェスタ 2016」<http://www.jiff.football/blog/jiff-jiff-2016>を開催されました。沖縄県や静岡県でもサッカー協会が主催し障がい者サッカーフェスティバルが開催され全国に活動の輪が広がっております。第3回 J DFA フェスティバル 2017 は2017年3月11日（土）-3月12日（日）に兵庫県/播磨光都サッカー場にて開催されます。前回は子どもから大人までと幅広い年齢の方々におよそ1500名（第1回は500名）のご来場があり、たくさんの方々にデフサッカーをはじめ障がい者サッカーを主に観てもらいました。今回は実際に体験することをメインに開催します。人が一般的に覚えている確率は、文字を読む：10%、言葉を聞く：20%、視覚で見る：30%、聞いて見る：50%、話したり書く：70%、体験する：90%です。人間は一般的に読んだものは10%ぐらいしか覚えていられないのに対し、実際に自分で体験したことは90%を覚えていられるといわれているからです。今回も前回同様にその他障がい者スポーツの体験会、なでしこ交流戦、少年交流戦、映画「アイコンタクト」上映会、ダウン症の画家宇田光志氏の絵画展、障がい者作成作品の販売などに加え、今回は2011年3月11日に発生した東日本大震災から6年の月日が経った中、日々の防災の意識を高め災害を忘れぬよう防災訓練を行い、「インクルーシブフットボール」障がいがないに関わらず子どもから大人が混ぜこぜのチームでフットボールを体験しますのでぜひ多数のご来場お待ちしております。

本年も代表活動をはじめ日本ろう者サッカー協会の活動に對し、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。